

モンゴル国西部のカザフ人 —鮮やかな装飾に囲まれた日常生活—

千葉大学大学院博士前期課程

廣田千恵子

第 27 回雲南懇話会（2013 年 12 月 7 日）

発表要旨：

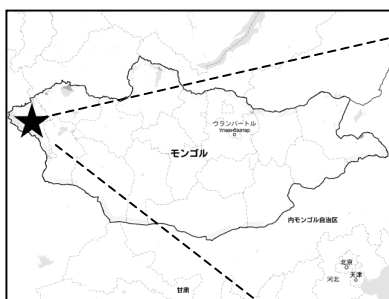
本発表は、モンゴル国最西端にあるバヤン・ウルギー県に居住するカザフ人の日常生活、及び装飾利用文化に関するものである。カザフ族は、夏期になるとウイと呼ばれる伝統的ユルタで生活する。ウイの内部は、女性の手芸によって作られた色鮮やかな装飾で溢れている。モンゴル国において社会主義が崩壊して以降、カザフの装飾品は、私的目的のみならず商業利用目的で作られている。本発表の内容は、主に 2012 年 4 月から 2013 年 12 月まで行ったフィールドワークに基づいている。

1 調査地概要

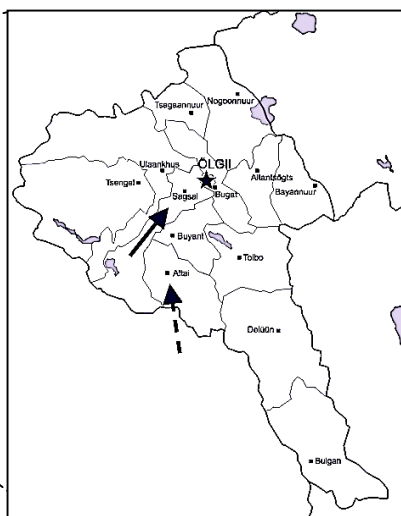
○調査地詳細

- ・バヤン・ウルギー県の人口は、およそ 93,400 人。
- そのうちの 88.7 パーセントはカザフ族（Sultan 2010: 20）。
- ・県面積は、4 万 6,000 平方キロメートル（田中 2000: 42）。
- ・県内の 95.3 パーセントの土地が、標高 1,600 メートルに位置（Sultan 2010: 20）。

○調査地地図



地図 1



地図 2

地図 1 モンゴル国全体図。★はバヤン・ウルギー県位置。Googlemap を一部加工して作成。

地図 1 の縮尺: 1/48,000,000

地図 2 バヤン・ウルギー県地図。★はウルギー市、直線矢印で示している場所がサグサイ郡、点線矢印で示している場所がアルタイ郡。<http://ulgii.wordpress.com> 上の掲載地図を一部加工して作成。地図 2 の縮尺: 1/5,500,000

○自然環境

- ・アルタイ山脈に囲まれた土地
- ・山脈山中にところどころ見られる湖
- ・湖の外側には乾いた荒野が広がる



写真 1 山と湖（アルタイ郡ジャランガシ）¹

写真 2 湖の様子（トルバ郡トルバ湖）

2 モンゴル国のカザフ人とその生活

○歴史

- ・18 世紀にロシア帝国の支配を逃れる為カザフ草原地域からアルタイ山脈の南麓へ移動したカザフ人
- ・19 世紀に清朝帝国との衝突のため一部のカザフ人がさらに北麓へ移動
- ・1915 年ロシア、中国、モンゴルの間で国境制定
- ・1940 年モンゴル国バヤン・ウルギー県成立

○使用言語

- ・主にカザフ語を使用。
- ・モンゴル国の第一言語はモンゴル語であるが、モンゴル語が全く理解できないカザフ人も多くいる。

○生活の様子

- ・生業を牧畜とする人々の生活→季節移動型の牧畜

¹ () 内は撮影場所。全てモンゴル国バヤン・ウルギー県内。

3 カザフの装飾文化

○カザフ人の2つの住居について

- ・“夏の家”→キーズ・ウイ (кiз үй)
- ・“冬の家”→スタック・ウイ (ысык үй)

○ウイ (カザフのユルタ) の特徴

- ・モンゴルゲルと比べると、高さがあり、内部も広い。→梁の構造が特徴的。

○カザフ文様を施した装飾

- ・カザフ文様→ヒツジの頭、角、臓器を表したものの、その他鳥の形、花など

○装飾の種類

- ・壁かけ、壁周り…壁かけ布 トゥス・キーズ (тұс кiз) /防砂壁 オラガン・チー (ораған ши) /その他壁周りの装飾



写真3 壁かけ布トゥス・キーズ (ウルギー郡)



写真4 防砂壁オラガン・チー (ボルガン郡)

- ・ベッド周り…刺繍布 アラシャ (алаша) /枕 ジャスタック (жастық) /ベッドカーテン ケルメ (керме)
- ・床…絨毯 サルマック (сырмақ)
- ・天井飾り…天井飾り ドゥテゲ (дөдеге) /扉上 バスコル (басқұр) /梁周り トールダック・カス (туырдық қас) /
柱紐 ジェル・バオ (жер бау) /その他装飾用手織り紐 テェルメ・バオ (терме бау)

○カザフの手芸技法

(文様を施す技術として)

- ・刺す ①布 (1) 鉤針刺繍 (2) 針刺繍 ②フェルト
- ・織る
- ・巻く

表 1 カザフの手芸技法の名称と分類

完成品	技法別分類	素材別分類	道具別分類
壁掛け布（ <i>тұс киіз</i> : トウス・キーズ）	刺す（ <i>тігу</i> : ティゴ）	布に刺す （ <i>тігу</i> : ティゴ）	針刺繍（ <i>кесте</i> : ケステ）
			鉤針刺繍（ <i>біз кесте</i> : ビズ・ケステ）
フェルト絨毯（ <i>сырмақ</i> : サルマック）		フェルトに刺す（ <i>сыру</i> : サロ）	
手織り紐（ <i>терме бау</i> : テエルメ・バオ）	織る（ <i>теру</i> : テェロ）		
防砂壁（ <i>ораған ши</i> : オラガン・チー）	巻く（ <i>орау</i> : オラオ）		

[注]表 () 内はカザフ語のキリル文字表記及びその読みである。

○装飾利用の在り方

・結婚後の贈り物として

新郎新婦の親は、結婚後 1 年以内に家財道具一式を用意し、若夫婦に贈らなければならない。
家財道具を贈る際には、茶会が開かれる。

・住居を美しくみせる習慣

頻繁に家を訪れる親族たち
→非常に強いカザフの親族関係

・お土産品としての利用

社会主義崩壊以後、訪れるようになった観光客。→商業利用のはじまり。
近年はイヌワシ祭りなど、カザフの鷹匠文化をみせるイベントが行われ、観光客が増えた。
古い装飾品は、海外に持ち出されていく。

○作り手の変化

・作り手として活躍するのは主に 30 代後半~50 代。

家の仕事として、趣味として、手芸を楽しむ。
親世代から手芸を身につける事の必要性を聞かされてきた人々。

・10 代~20 代といった若い作り手の減少。

生活スタイルの変化。
機械 (電動ミシン) の導入。

○今後の研究課題

- ・バヤン・ウルギー県内の郡ごとの手芸状況の把握
- ・モンゴル国以外に居住するカザフ人の装飾文化について

4 参考文献

(日本語)

西村幹也 (2011) 「モンゴル国のカザフ人」『日本とモンゴル』 46(1): 25-37

田中克彦 (2000) 「カザフ人の過去と未来 民族の歴史構造を解説する」『季刊民族学』 24(1): 34-42

(モンゴル語)

Sultan Taukein, Zulikapuli Mauletiin (2010) *Bayn- ölgii aimgiin nevterkhii toli* Ulaanbaatar

(インターネット資料)

<https://maps.google.co.jp/> [モンゴル国全体地図](#) (2013 年 5 月 6 日閲覧)

<http://www.ulgi.wordpress.com/> バヤン・ウルギー県全体地図 (2013 年 5 月 6 日閲覧)